

## 初任給据え置き、大企業の7割 前年度よりやや増加

2017年4月26日08時04分



シェア

2



ツイート

[list](#)

B!ブックマーク

1



メール



印刷

### 三井住友トラストVISA ゴールドカード入会で

年会費  
最大 **75%OFF**  
&  
プレゼントキャンペーン対象期間 2017年 **2月13日**(月) ~ **5月31日**(水)

三井住友トラストカード

詳しくはこちら

[PR]

大企業の70・2%が、2017年度の  
新入社員の初任給を前年度と同額に据え置  
いたことが、民間の調査機関「労務行政研  
究所」の調べでわかった。前年度は66・  
1%で、据え置き企業がじわりと広がっ  
た。一方、上げた企業は29・4%で、こ  
ちらは前年度(33・9%)よりも低下し  
た。同研究所は「賃上げの勢いがトーンダ  
ウンしていることが影響した」(調査室)  
とみている。

据え置いた企業の割合は、リーマン・シ  
ョック後の09年度から5年連続で9割を

超えたが、企業業績の回復や「官製春闘」を受けて初任給も引き上げる企業が相次いだ。  
14年度は75・5%、15年度は58・7%まで低下した。しかし、賃上げに消極的な  
企業が増えてきたことを反映して16年度に続き、今年度も上昇。初任給を上げた企業の  
割合も2年連続で低下した。

調査は3月下旬～4月5日に実施。東証1部 上場企業など大手228社から回答を得  
た。大卒初任給の平均額は、前年度より1180円高い21万868円。